

経済的に就学継続が困難な 生徒たちへ学資支援

ハティン省教育訓練局とJIFAの合意に基づき、親がいなかったり病気などで経済的に苦しい家庭環境の中でも、勉学が優秀で向学心に燃える子どもたちを支えようと、支援者が提供した学資支援金年1万円/人を、高校卒業まで生徒へ贈呈する活動を行っています。

2018年度からは13ある各郡から1～2名ずつ推薦された困難な中学4年生に対して、高校卒業までの間、奨学金を贈呈し、励ましています。

2021年度は生徒102名に、2022年度は97名に学資支援を行いました。

コロナ禍のなかでも、WEBで支援者からのメッセージを届け、生徒から感謝の言葉がビデオで寄せられました。



2022年5月11日 第8次学生支援金贈呈（ベトナム・ハティン省）

手数料負担や借金なく安心して日本に 学びに動きにえられるゼロフィーの推進

多額の借金をして手数料を払って来日するベトナム青年の現状を改善しようと、国際労働基準のゼロフィー（リクルート費用を負担させない）の推進を日本とベトナムで進めています。2023年4月にはJICA（国際協力機構）、ILO（国際労働機関）、VAMAS（海外労働者派遣協会）、日本大使館等と連携して、日越人材育成交流フォーラム～国際スタンダードのリクルートを目指す～をハノイで開催。ゼロフィープロジェクトをハティン省教育開発支援機構(OHEDAS)と協力して推進しています。

在日ベトナム若者支援

コロナ禍の影響で、仕事や住まいを失い、食にも事欠く在日ベトナム人の帰国困難者等を受入れ、心の拠りとなっている「幸せの贈り物プロジェクト」を支援しています。



大恩寺ベトナム寺院(本庄市)

ベトナムハティン省 学資支援者 募集！

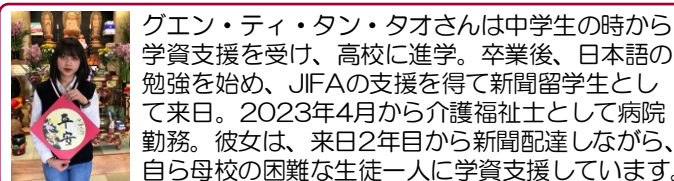
2014年から継続してJIFAがハティン省教育訓練局と連携して、経済的・家庭的に困難な生徒に高校卒業まで、のべ約600人に対して学資支援を行ってきました。

ハティン省は毎年のように台風に見舞われ、2020年には洪水により水深3mも浸かる地域もありました。被災農家では深刻な被害が発生し家畜も失われ、就学継続が困難な子どもたちへの支援が必要とされています。



2020年10月水害の状況

年1万円の学資支援
に協力いただける
支援者募集中です！



グエン・ティ・タン・タオさんは中学生の時から学資支援を受け、高校に進学。卒業後、日本語の勉強を始め、JIFAの支援を得て新聞留学生として来日。2023年4月から介護福祉士として病院勤務。彼女は、来日2年目から新聞配達しながら、自ら母校の困難な生徒一人に学資支援しています。



震災復興に向けて熱いメッセージを寄せるベトナムの子どもたち

JIFAの活動は、会費及び寄付金によって支えられています。JIFA会員には、法人会員、個人正会員、個人賛助会員、学生会員があり、不定期にご寄付をいただく寄付会員などの制度もあります。

法人会員： 入会金 30,000円 年会費 30,000円
個人正会員： 入会金 10,000円 年会費 10,000円
個人賛助会員： 入会金 5,000円 年会費 5,000円
学生会員： 入会金 500円 年会費 1,000円

- 口座名 特定非営利活動法人日本国際親善協会
- ゆうちょ銀行から 記号10150 98253761
- 他銀行からゆうちょ銀行 店番018 普通9825376
- 三井住友銀行 新宿通支店 普通7274362

JIFA

世界の子どもたちへ 愛の協心支援

人から人へ
手から手へ
心から心へ



JIFAに国境はありません



EDUCATIONAL SUPPORT

認定特定非営利活動法人
日本国際親善協会 (JIFA)

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階
電話&FAX 03-5989-0814
<http://www.jifa.org>

JIFAは現在ASIA地域の子どもたちに『人から人へ、手から手へ、心から心へ』を基本として目に見える支援を行っています。

JIFAが目指すのは、未来を担う子どもたちを支援することにより、今後の世界の発展に貢献する人材を育成することです。

かつては辞書にはなかった言葉『協心』を合言葉として活動を行っています。

『協心』とは・・・
JIFAの活動の根源に流れる言葉です。『1人の力は限られていますが、2人・3人と協力して心を通わせ力を合わせれば不可能な事も可能になる』という思いが言葉に込められています。



History ~今までの歩み~

- 1998年 7月 日本ペルー親善協会設立
- 2001年 2月 日本国際親善協会に改称
- 2002年 6月 NPO法人の認証を受ける
- 2005年 9月 中国寧夏回族自治区と山東省で教育支援支援開始以来 7回教育支援訪中
- 2010年 9月 ベトナム ハーティン省で、ティンロック中学校に浄水装置1号機を設置以来、ハーティン省、ドンナイ省、クアンナム省で15号機まで設置
- 2014年 9月 ハティン省で学資支援を開始
- 2016年 4月 ベトナムで教育・スポーツ・人材育成交流会を開催（ハノイ・ダナン）
- 2017年 9月 日越人材育成交流会（ハティン）
- 2018年 8月 ホイアン日本祭出展・日本文化紹介クアンナム省教育交流イベント参加
- 2018年11月 アジア人材育成交流会（東京）開催
- 2019年 7月 日越人材育成交流フォーラム（熊本）
- 2019年 7月 令和元年外務大臣表彰池田理事長受賞
- 2019年10月 バングラデシュ人材育成交流
- 2019年10月 カンボジア・モンゴル人材育成交流
- 2020年 9月 新型コロナ感染防止支援事業開始
- 2021年 1月 ベトナム第7次学資支援授与81名
- 2022年 3月 ウクライナ支援・避難民支援活動
- 2022年 5月 ベトナム第8次学資支援授与102名
- 2022年11月 ベトナム第9次学資支援授与97名
- 2023年3月 公益性の高い認定NPOとして認められる
- 2023年4月 日越人材育成交流フォーラム2023inハノイ開催

Vietnam ベトナムでの支援活動

多様な支援を必要としているベトナム

ベトナムの農村地域では水道が普及していないため、2010年から、子どもたちが安心して飲める水を提供してきました。



2021年4月までに15基を設置
累計約30,000名の生徒と先生
方や診療所等の施設に安全な水

を提供しています。浄水装置は、浄化筒や浸透膜装置を通過させ、紫外線やオゾンで殺菌するしくみで、省予防衛生センターの分析によりベトナムの飲料水水質基準をクリアする浄化能力を確認したうえで、提供しています。設置後の維持管理については、合意文書に基づき、人民委員会、教育訓練局、村や学校が責任を持ち、地元の協力業者が定期的に検査やメンテナンスを行うため、子どもたちは安心して飲み続けられます

教育・文化・スポーツ・人材育成支援

アジア各国の青少年への支援の一環として、JIFAでは、在日大使館や在日学生青年団体等と協力して、ベトナムや国内で、スポーツ・文化の交流イベントを開催しています。

2016年には、ベトナムハノイとダナンで日越教育・スポーツ・人材育成交流会を開催し、日本での技能実習や留学をめざす青少年やスポーツ指導者との交流を深めました。また、2017年と2019年には日本大使館と共催で適正な人材交流を進めるフォーラムを開催しました。2023年には、講談を通じて日本語を楽しく学ぼうと、講師神田陽子師匠らの協力を得て伝承文化交流をハノイとハティンで行いました。



ハノイ 2017年5月11日



梅田大使をお迎えして
ハティン 2017年9月6日



伝承話芸(講談)の交流

アジア各国の子供たちへの支援



中国

中国寧夏回族自治区と山東省の辺境地域で約300人に教育支援を実施(2005~)



カンボジア



地雷によって足を失った方や小児麻痺(ポリオ)のため障がいをもった方たちが自立するための施設で交流・支援



モンゴル



JIFAからの寄付金のお礼にいただいた切り絵 (脳卒中から回復した入居者の作品)
ウランバートルシングルマザー支援団体・介護施設との交流 介護技能を学ぶため来日が実現



ミャンマー バングラデシュ

ミャンマー人道支援 ロヒンギャ(避難民)を受入れているバングラデシュ支援



ネパール



2015ネパール地震 コメの救援/チュブルン村に風力発電支援

ウクライナ



ウクライナ支援募金 2022.3
ポーランドへ避難民支援募金



ベトナム



東ティエンビエン郡ハンリア村の少数民族の子供たちと交流・支援 (2015)



ベトナム大使館と共同でチャリティ事業 収益の半分は枯葉剤被害地救済に半分はJIFA活動へ